

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
(再)キャリア演習Ⅱ				三好 ゆう	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	3年次	演習	有	
授業の概要 (Course Description)					
<p>本クラスは、わが国のあらゆる部面における制度・政策について考察するゼミである。社会のしくみは複雑で、制度・政策に関して専門性を高めようとするれば、必然的に普段は聞きなれない用語が頻出する。専門的知識を身につけるため、本クラスでは最初に数冊の文献輪読を行い、基礎的知識や専門用語を理解することに努める。</p> <p>学問は、問題や課題の本質を探るための道具に過ぎない。あるいは、物の見方の1つといえる。この道具を持つことができれば、地域が抱える様々な問題や課題に対して、どのような視点・角度・切り口から自分が捉えようとするのかを理解・自覚しながら取り組むことができる。また、解決への糸口の発見が容易になることがある。理論学習を通じて論理的思考力を養うことは、説得力のある政策提案に繋がるといえる。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の研究テーマ・論点に沿う資料や情報が収集・整理できること。</li> <li>・論文執筆の過程を理解し、自己の見解や主張について一貫した論理的説明の道筋をつけること。</li> </ul>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	イントロダクション –授業目的–				
第 2 回	テーマの確定①				
第 3 回	" ② –章構成–				
第 4 回	先行研究等の整理① ※随時、章構成を行っていく				
第 5 回	" ②				
第 6 回	" ③				
第 7 回	" ④				
第 8 回	" ⑤				
第 9 回	" ⑥				
第 10 回	" ⑦				
第 11 回	" ⑧				
第 12 回	論文作成①				
第 13 回	" ②				
第 14 回	" ③				
第 15 回	" ④				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回ごとにレジメにてまとめたものを報告してもらうので、準備をしておくこと。</li> <li>・ニュースや新聞に絶えず目を通しておくこと。</li> </ul>					

成績評価の方法と基準 (Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (20%) 課題 (80%)	秀：専門的用語・しくみ・理論の理解が十分であり、自分の言葉で論理的に説明ができ、かつ、現地調査を通じて身近な問題に置き換えて説明ができる。 優：専門的用語・しくみの理解が十分であり、自分の言葉で論理的に説明ができ、かつ、現地調査を通じて身近な問題に置き換えて考えることができる。 良：専門的用語・しくみが理解でき、かつ、現地調査を通じて身近な問題に置き換えて考えることができる。 可：最低限の専門的知識を理解し、現地調査ができています。 不可：専門的知識を理解せず、現地調査も行っていない。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 ※とくに、なし。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	テーマに合わせて、適宜、紹介する。
備考 (Other Information)	・「キャリア演習 I」を履修していること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	週2コマをオフィスアワーとする（事前連絡は不要） 具体的な曜日・時限については、オフィス前に掲示しておく